

<様式3>

事業計画要旨(群馬県立多々良沼公園)

1 申請者名	J A 邑楽館林千代田町緑化組合						
2 管理運営方針 (公益性) ※SDGsを考慮した	<p>私たちは指定管理者として「公の施設」を管理するというのではなく、県の代行者として常に平等かつ公正・公平に安全で快適な利用及び自然との調和を目指し管理を行います。また管理運営にあたっては利用者に愛される公園づくりを目指すとともに施設の利用向上に努めます。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p>						
3 収支計画書	年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	合計
	総収入	39,086	39,086	39,086	39,086	39,085	195,429
	内 指定管理料	38,636	38,636	38,636	38,636	38,635	193,179
	内 その他	450	450	450	450	450	2,250
	総支出	39,086	39,086	39,086	39,086	39,085	195,429
4 サービス等を向上させるための取り組み	<p>利用者が公園を訪れる目的は散策や自然観察が多いと思いますが、家族や友人達と有意義な時間を共有していただくために青空ヨガ・太極拳教室や自然観察ウォーキング、スタンプラリー、夏休みイベント、県民の日イベントなどの自主事業の更なる充実に取り組みます。</p>						
5 広報広聴への取り組み	<p>今の情報をスピーディに発信するホームページやSNSの活用に加え、来園者及び近隣県民の方々にはチラシ・パンフレットによる情報提供を行います。また、利用者アンケートのご意見を聴取し対応状況等をお知らせします。</p>						
6 県民との協働	<p>地域住民や各種団体等との連携を図ることにより、様々な相乗効果が生まれます。公園地域の総合力が高まることや活性化のため、自主事業等イベントにおいて協働関係を構築します。</p>						
7 組織体制について	<p>園長・副園長、総務G、施設管理G、緑地管理G等それぞれの役割を明確にし公園管理を遂行します。</p>						
8 維持管理の取り組み	<p>公園は誰もが安全で安心して憩えることが重要となります。日々の巡回パトロールで危険箇所を早期発見し対応するとともに年間作業計画に則り植物管理、トイレ・園路清掃、また、日常点検、法定等定期点検により安全の確保を図ります。</p>						

9 組織運営について	<p>私たちは長年造園業を営む10社の組合です。園長、副園長や各グループリーダーの指示による維持管理体制の維持や各種ボランティア団体等との協働により事業を展開します。</p>
10 人材育成について	<p>施設の安全管理、親切丁寧な接遇、快適な公園管理などについて、来園者が安全・安心で快適に公園施設を利用させていただくために職員の資質及び能力向上を目的に各種研修会を行います。</p>
11 知識・経験について	<p>造園業者の組合であり、一級・二級造園施工管理技士、造園技能士等の取得者が知識を活かし、また、各種公共事業および多々良沼公園指定管理者としての経験により利用者に心地よい公園となるよう努めます。</p>
12 情報管理に対する取り組み	<p>職務上知り得た情報については個人情報保護法、群馬県個人情報保護条例等に基づき適切に管理を行なうとともに、職員に対しては指定管理者でなくなった後も守秘義務を順守します。</p>
13 安全管理への取り組み・事故、災害等緊急時の連絡動員体制	<p>公園では自然災害や不測の事態が起こる可能性があり、利用者及び地域住民の安全確保が最優先されます。万が一の事態に備えて訓練を積んだスタッフにより初期対応に努め、次に消防署、警察署、土木事務所等との連携により被害を最小限に努めます。また、日常の安全対策では1日2回の巡回パトロールを行い施設や園路等の安全確認を実施します。</p> <p>訓練では初期消火訓練の実施やAED（体外式除細動器）を使用した普通救命講習会の開催による人命への対応措置を行います。</p> <p>超大型台風の上陸など事故・災害等緊急事態が発生した場合、園長・副園長その他のスタッフ全員が危機管理意識を共有し緊急連絡体制マニュアルに沿って消防署・警察署・土木事務所・群馬県都市計画課等に連絡・連携し被害者の支援や被害の拡大防止に努めます。</p>
14 環境管理に対する取り組み	<p>多々良沼公園は自然環境が豊かな場所です。芝生等の緑地管理で発生する刈草はリサイクル施設へ搬入し、また、雑草管理では希少種保護の観点等から除草剤の使用は禁止とし自然環境の保全に努めます。</p>
15 希少種や外来種への対応・日本遺産としての対応	<p>多々良沼はかつてタカノホシクサやタタラカンガレイ等希少種の宝庫でした。現在はボランティア団体の「多々良沼自然公園を愛する会」により希少種の保全が行われており、愛する会と連携を図り、イヌタヌキモ・ミゾコウジュ・ヌマアゼスゲ等、希少種の保全に努めます。また、希少種講演会を開催し見識を広めるとともにスキルアップを図ります。</p>

16 活動団体との協働・他施設との連携	公園の活性化や自然環境の保全には各種団体との連携が重要です。公園関係ボランティア団体や行政機関との連携については、公園管理事務所が調整役となり、関係する団体間をつなぐ役割を担います。また各団体との協働によりイベント等自主事業の開催に努めます。
17 環境保全に対する取り組み	<p>ゴミへの対応ではゴミ箱の設置は無くお持ち帰りを基本とします。また定期巡回時で園内に投棄されたゴミ等を回収します。</p> <p>公園内で使用する資材・消耗品等事務用品はグリーン購入法適合品を使用し環境に配慮します。</p>
16その他提案事項	<p>暑熱対策としてアイス自販機の導入を検討。</p> <p>ペットツーリズムに対応できるようドッグラン・イベント開催を検討。</p>

- 注 1 公表時は、申請者名欄は団体種別のみ表示します。
- 2 A4判3～4枚程度で事業計画書の該当項目を要約すること。
- 3 自主事業を行う場合は、収支計画書欄に自主事業を合算した数値を記載すること